

1996年度入学試験問題

数 学 (文系)

150 点満点

《配点は、一般選抜学生募集要項に記載のとおり。》

(注 意)

1. 問題冊子および解答冊子は監督者の指示があるまで開かないこと。
2. 解答冊子は表紙のほかに、解答用ページ、計算用ページ、余白ページがある。
3. 問題は全部で5題ある。
4. 試験開始後、解答冊子の表紙所定欄に学部名・受験番号・氏名をはっきり記入すること。表紙には、これら以外のことを書いてはならない。
5. 解答は問題番号に対応する解答用ページに書くこと。それ以外のページに書かれたものは採点の対象としない。ただし、解答用ページに続き方をはっきり示した場合は、見開きの隣接する計算用ページを解答用ページの続きとして使用してもよい。その場合は、解答用ページに「計算用ページに続く」旨が明示されたときに限って、計算用ページに書かれているものを解答の一部として採点する。なお、他のページに書かれたものは採点の対象とはならないので注意すること。
6. 解答に関係のないことを書いた答案は無効にすることがある。なお、計算用ページおよび余白ページに書かれた解答のための下書き、計算などは、消さずに残しておいてもよい。
7. 解答冊子は、どのページも切り離してはならない。
8. 問題冊子は持ち帰ってもよいが、解答冊子は持ち帰ってはならない。

1

(30 点)

xy 平面の原点 O を中心とし半径 1 の円 C 上に定点 A をとる. 同じ円上の点 X に対し, 平面上の点 Y を

$$\overrightarrow{OY} = \overrightarrow{OA} - 2(\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OX})\overrightarrow{OX}$$

で定める. ただし, $\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OX}$ は $\overrightarrow{OA}$ と $\overrightarrow{OX}$ の内積である. このとき,

- (1) $|\overrightarrow{OY}| = 1$ であることを示せ.
- (2) $\overrightarrow{OY} = -\overrightarrow{OA}$ となる点 X をすべて求めよ.
- (3) 点 X が円 C を 1 回まわるとき, 点 Y は同じ円を 2 回まわることを示せ.

2

(30 点)

$0 < a \leq b$ をみたす実数 a, b に対し, 数列 $\{a_n\}, \{b_n\}$ を

$$a_1 = a, \quad b_1 = b, \quad a_n = \sqrt{a_{n-1}b_{n-1}}, \quad b_n = \frac{a_{n-1} + b_{n-1}}{2} \quad (n \geq 2)$$

によって定める.

- (1) すべての自然数 n に対し, $a_n \leq a_{n+1} \leq b_{n+1} \leq b_n$ が成り立つことを示せ.
- (2) すべての自然数 n に対し, $b_{n+1} - a_{n+1} \leq \frac{1}{8a_n}(b_n - a_n)^2$ が成り立つことを示せ.
- (3) $a = 100, b = 900$ のとき, $b_n - a_n < 4$ をみたす最小の n を求めよ.

3

(30 点)

各成分が 0 以上の整数である行列 A で, $A^3 = A$ をみたすものをすべて求めよ.

4

(30 点)

正の実数 a に対し、実数全体で定義される関数 $g(x)$ を

$$g(x) = \int_{-2}^2 |x - t|(t^2 - a^2) dt$$

で定める. このとき, $g(x)$ が最小値を持つような a の範囲を求めよ. また a がそのような範囲にあるとき, $g(x)$ の最小値を a を用いて表せ.

5

(30 点)

点 O を中心とする円周の 6 等分点を $P_1, P_2, \dots, P_6$ とする. サイコロを 3 回振り, 出た目が順に i, j, k のときの得点を次のように定める. i, j, k の中に同じものがあれば 0 点とする. i, j, k がすべて異なるときは, 円の中心 O が三角形 $\triangle P_i P_j P_k$ の内部にあれば 3 点, 辺上にあれば 2 点, 外部にあれば 1 点とする. 得点の期待値を求めよ.

問題は、このページで終わりである。

